

長谷川誠子

3月例会 議事録

日時： 2025年3月6日(木) 14:00~16:00

場所： 川本本店

出席：8名 川本 阪田 阪田悦子 杉田 鈴木 長谷川 牧 吉田

- 1 2月8日(土)に摂津富田の清鶴酒造を見学しました。参加者 14名 川本 阪田 阪田 笹嶋 鈴木 清野 中村 南野 長谷川 牧 松岡 吉田 吉田。会員外1名 案内および企画をしていただきました牧さんと吉田さんに感謝いたします。
- 2 4月4日(金)にお花見を実施します。行先 京都市大原野。昼食は人気の手打ちそば「こごろ」。参加申込者 河村 川本 阪田 杉田 鈴木 清野 谷木 長谷川 牧 松岡 吉田 吉田洋子 12名 昼食の予約は不要 JR 向日町 10時集合 JR 茨木駅 9時39分発快速電車に乗車すれば向日町着 9時58分です。
- 3 5月30日(金)に兵庫県高砂市を訪ねます。阪急茨木市駅 12時集合 夕食は12名で予約しています。申込締切り4月4日(金)お花見当日です。
- 4 伏見屋の試食会と工場見学が復活しています。6月13日(金)を予定、詳細は後日。前回はコロナ前に実施し好評でした。
- 5 「いばきた」のつり橋が完成します。3月17日オープン。街 ing での見学は秋を予定しています。
- 6 今後の例会実施日 4月なし 5/8(木) 6/5(木)
7/3(木)総会 8月なし

以上



近鉄の路線がない茨木に、なぜ近鉄バスが走っているのか？

茨木市には阪急、京阪、近鉄のバスが走っています。枚方行き京阪バスが茨木を走っていても納得できますが、近鉄の鉄道路線とはつながりのない近鉄バスが茨木市内で運行しているのはどうしてなのでしょう。

結論から言うと、近鉄が茨木のバス会社を吸収合併したということです。吸収されたバス会社の名は、**茨木バス株式会社**。合併時は、茨木・摂津・吹田に路線 31 系統と貸し切りバス事業を営んでいました。

茨木バスは、大正 15 年に高田政治郎により「茨木自動車」として創業されました。開業時は国鉄茨木駅から茨木神社前の高橋を経て水尾・真砂、そして島へと結ぶ路線でした。この路線は、朝 7 時から夜 7 時まで 40 分間隔で運行していました。その後、鳥飼まで延伸されています。当時、阪急バス茨木営業所の前身で茨木北部に路線をもつ茨木妙見自動車がバスの塗装の色から通称「青バス」と呼ばれていたのに対し、茨木バスは「銀バス」として茨木や鳥飼の人達に親しまれていました。

このころの鳥飼村はメリヤス工場が盛業しており、多くの人々がバスを利用していました。そして、日本でも有数の大企業で、鳥飼に大工場を有する鐘淵紡績株式会社の鳥飼工場がありました。この従業員運搬用バスとしての需要増もあり、鐘淵紡績(カネボウ)は昭和 17 年に茨木自動車を買収。「茨木バス」としてカネボウの子会社となりました。

「茨木バス」は戦後、国鉄茨木駅、国鉄千里丘駅をメインに路線を拡充し成長を続けましたが、施設の共同使用や管理費の削減等の抜本的なリストラを実行するため、昭和 40 年 7 月 1 日をもって近鉄が「茨木バス」のバス事業を譲り受けました。茨木バスは近畿日本鉄道自動車局の茨木営業所としてスタートしました。茨木での「近鉄バス」の始まりになります。その後、昭和 43 年に摂津市東別府に広大な敷地を取得、近鉄バスの鳥飼営業所とし、当時としては最新かつ大規模な整備工場を設置しました。昭和 45 年に日本万国博が開催され、「近鉄バス」はその観客輸送に大きな役割を果たしました。

近鉄の正式名称は「近畿日本鉄道」で明治 43 年に設立された「奈良軌道株式会社」を源流としています。その後合併を重ね、昭和 19 年に「近畿日本鉄道」が発足しました。戦時期の交通統制が進む中での合併でしたが、名前に「日本」を加えたことで将来の路線拡大の意図が込められていました。当時の近鉄は、阪急や京阪の地元である茨木にも拠点を持ちたかったのでしょう。自家用車の普及に伴いバス需要の増大は見込めない状況ですが、身近な移動手段として茨木市内のバス路線の確保は欠かせない存在になっています。

替え歌紹介

舟木一夫は昭和19年生まれ、今年81歳になります。デビュー曲は昭和38年の「高校三年生」です。この曲の大ヒットで、舟木一夫は一躍スターとなりました。あれから62年、当時の高校生も後期高齢者と呼ばれる年代になっています。YouTubeでは「高校三年生」の替え歌が人気を博しています。その歌詞を紹介します。

Go Go 高齢者

昭和に生まれ 平成 令和と
走り続けた 我が人生
ああ Go Go 高齢者
ぼくら 杖をついて歩くとともに
弾む心は 若人さ

いつの間にやら 75歳に
仲間入りだね 後期の高齢者
ああ Go Go 高齢者
ぼくら 定期健診 忘れずに
長生きしましょう 100までも

今日が人生 最後の日だと
思い歌おう この歌を
ああ Go Go 高齢者
ぼくら 場所はそれぞれ違っても
希望歌おう 明日の日を

今年が昭和100年、YouTubeを超えて、再び大ヒットになるのでしょうか。

<元歌>

赤い夕日が 校舎をそめて
二レの木陰に 弾む声
ああ 高校三年生
ぼくら 離れ離れになろうとも
クラス仲間は いつまでも

シルバー川柳

AIに 冥土の生き方 聞いてみる
平均を 超えそうなのは 寿命だけ
七回も 転んで起きれる わげがない
棋士よりも 菓子が気になる 竜王戦
LED ぜったい見てやる きれるとこ
自己紹介 名前 出身 趣味 持病
老いてなお スマホ操り どや顔に



高砂の英雄「工楽松右衛門」

南野 利江

江戸後期、播州高砂の貧しい一介の漁師から身を起こし、雇われ船頭から廻船問屋にまで上り詰めた「**松右衛門**」という実在の人物を描いた歴史小説です。松右衛門は、豪胆な船乗りとして皆に

一目を置かれていましたが、どうすれば効率のいい航海ができるか、効率のいい漁ができるかを、いつも考えている男でした。その頃は 船の帆にはむしろや、薄い木綿が使われていたので 力がなく、風が強い時は港で待ち、陸に沿って航海する「地乗り」が中心で、流通には時間がかかっていました。 船の帆は このころ幕府の方針で 一枚に限定されていたのです。

松右衛門は、一枚でもなんとか強い帆をつくり 強い航海ができないかと考え、太い木綿糸を縦糸・横糸ともに二筋にして織ったごく厚手の布地で帆をつくりだしました。

「**松右衛門帆**」と呼ばれ、この帆を使うことによって、強い風での航海が可能となり 「沖乗り」ができるようになりました。 航海日数が今まで 3 か月かかっていたところを 1 か月で行けるようになりました。これは航海史上画期的なことでした。 松右衛門は、この発明を自分だけの利益にすることはなく、作り方を公開し、誰にでも教えてあげました。—**仕事とは金のためでなく、世の中のためにするものだ**—という信念！ そこが松右衛門のすばらしいところです。「松右衛門帆」は船乗りの皆に歓迎され、全国的に普及しました。

「松右衛門帆」のおかげで 遠く蝦夷松前まで航海できるようになりました。 兵庫大阪からは 衣類・米・酒・塩・砂糖を運び、蝦夷からはニシン、昆布、シャケを持ち帰りました。どちらもそれは飛ぶように売れました。 ニシンは食用としてではなく魚肥として使われました。 そのころ皆は衣類に暖かい木綿を欲しがりました。ニシンの肥料を使うと綿の収穫量が倍増したので、ニシンの肥料は飛ぶように売れました。その木綿を松前に持って行き、また飛ぶように売れました。 松右衛門は、「**新巻きザケ**」も考案しました。

松右衛門の新型帆布「松右衛門帆」は日本の海運に一大革命をもたらしたと言っても過言ではありません。後 20 歳年下のあの高田屋嘉兵衛が北前船で大働きしたのは「松右衛門

帆」があったからこそといえます。

蝦夷地は 松前藩が管轄していましたが、東蝦夷 国後・エトロフは ニシンが取れ放題、ラッコやあざらし（毛皮用）も沢山いました。ロシアの船がそれに目をつけ出沒します。ロシアの出沒に危機感を抱いた徳川政府が 丁度老中田沼意次の時代 東蝦夷を直轄領にしようとしています。

松右衛門は徳川幕府から蝦夷地開発のため、択捉に港を開いてほしいと頼まれます。そのころ択捉には すでに700人の蝦夷人が住んでいました。夏は短く 海流が激しく アイヌとは言葉が通じず大変な作業でしたが、松右衛門は 港に邪魔な石を取り除くための「石釣り船」や 「土砂をさらう船」「海中に杭を打つ船」など色々な機械船を考案し、難工事を成し遂げました。ニシンの加工場も作りました。この功績により 幕府から「工夫を楽しむ」という意味で「**工楽松右衛門**」という名前を頂き 苗字帯刀をゆるされました。

その後、田沼意次が失脚して 松平定信の治政になり 蝦夷開拓は取りやめになります。そして太平洋戦争後、ソ連は、北方四島の全てを不法に占領し、日本人を強制的に追い出しました。

もしかしたら、国後・エトロフの開拓を続けていれば、そのまま日本の領土になっていたかもしれません。

松右衛門は、さらには、若き日の高田屋嘉兵衛と共に、函館港を開発し 函館のドックもつくりました。その成功を見て 全国あちこちから工事を頼まれます。土砂がたまって港として使えなかった故郷 兵庫高砂の港を3年がかり修復しました。その改修には自分の資金をつかったといわれています。高砂港は 今もそのまま使われています。

松右衛門は高田屋嘉兵衛に比べると 知名度は低く教科書には出てきませんが 自分の利を求めず、多くの人が幸福になるためばかりを考えていた 本当の名望家であるといえるでしょう。

高砂には、松右衛門かつて住んだ家が残っていて、高砂神社に松右衛門の銅像がたてられています。

玉岡かおる著 『「帆神」北前船を馳せた男 工楽松右衛門』より

外来種 その3 ミシシippアカミミガメ

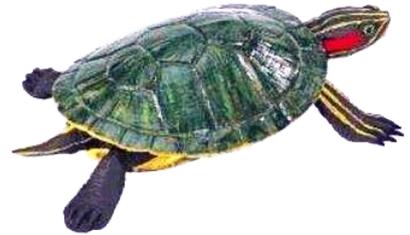
吉田 恭三

久しぶりに茨木市の JR 総持寺駅近くに位置する真言宗の名刹総持寺を訪ねた。山門を入るとまず目に入るのが参道近くの亀の住む池である。以前訪ねたときは全ての亀は日本固有のイシガメやクサガメのみが生息し参拝客に愛想を振りまいていたとの記憶がある。

今回驚いたことに亀は亀でもミシシippアカミミガメのみが池を独占しわが物顔に振舞っていた。この亀は1990年ごろにアメリカより我が国



(イシガメ)



(ミシシippアカミミガメ)

に大量に輸入され、子亀が夜店などで通称ミドリガメとして盛んに売られ、子供達はペットとして自宅で飼って楽しんでいた。しかしこの亀は成長が早く小さな容器ではやがて飼えなくなり近くの川や池に逃がした。この亀は繁殖力が極めて強く日本古来の亀の卵を好んで捕食するところから日本古来の固有種が激減し今ではアカミミガメ一色となってしまった。

さて、ここでは絶滅が危惧される日本固有のクサガメの話である。相当以前のある夏の夕、孫達が一匹の亀を我が家に持ち込んできた。近くの小川に沿った小道で拾ってきたとかでひとしきり庭で亀を相手に遊んでいたが、やがて飽きかきて後の面倒をわたしに託された。



クサガメ

さてどうしたものかなと、首びを引っ込めてたたまむ亀を前にして当方も思案投げ首、とりあえず泉水に放り込んで様子を見ることとした。時折水面に顔を出すので市販の鯉の餌などを投げ与えると貪欲に食べる。地上に出してやっても物おじせずに餌をねだって着いて歩く。孫が時々やって来ては亀はどうしているかと尋ねるのでむやみに死なすわけにも行かない。そうこうする内に当方と亀との間で情が通じたのか亀の動向が気に掛かりだした。さて晩秋になって全く顔をみせなくなった。どこに行ったのか？冬眠？まさか水の中で冬眠することもあるまい。亀は肺を持ち空気呼吸していることから何時までも水中に潜りっぱなしはできないはずと思いつつもやがて冬の到来、ある寒い朝水面が一面に氷が張る。もし冬眠中も時々水面に顔をお出し呼吸しているとしたら窒息死は免れない。取り急ぎ氷の一部を割っておく。亀を忘れるほどの長い月

日がたちやがて5月、なんとくだんの亀がが水面に顔を出して眼をきよろきよろ。まさか水底での冬眠はなかろうにと少し調べてみると亀の鼻腔、咽喉、膀胱近くに毛細血管が集中している箇所があり水中で水を飲めば水に溶けている酸素を吸収できる補助呼吸機能（一種の鰓？）が備わっていて水の中でも冬眠は可能と言う 不思議な生き物だ。

一夏過ぎれば亀は倍ほどに大きく成長した。今までに中身がなく亀の甲羅だけのもぬけの殻など見たことはないし我が家の亀も脱皮している様子がない。あの硬い甲羅はどうして伸びるのか？実は甲羅自体が骨格で成長と共に大きくなるようだ。背側の甲羅は表面より薄皮はがれるように少しずつめくられて下に新しい甲羅が出来た来る。しかし腹側の甲羅は数千年を経ても現存するほどに強固なものであるが・・・

古くから鶴は千年、亀は万年と言われる様に長寿の代表格。万年までは行かないまでも160年生きた記録が有ると言う。亀の長寿にも何やら仕掛けがあるらしい。長寿の秘訣の一つの要素に脈拍（心拍）の数が関係していると言われている。比較動物学の分野では哺乳動物は一生涯に打つ脈拍数はほぼ同数で20億回前後の由。人間は安静時では15億回、生活活動を考慮すれば20～23億回で、活動を促す交感神経の作用が強い場合は脈が早くなり、逆に活動を抑える副交感神経の作用が強ければ脈は遅くなる。一般的に象や鯨のような大きな動物ほど脈拍数は少なく2～3秒1回、小型の鼠では1秒に5～6回、ちなみに人間は一秒に一回前後。一方亀は大変遅い部類で特に冬眠時は極端に少ない。亀は冬暖かく保温してやれば冬眠はしない。しかし冬眠をしたものより寿命が相当短くなるという統計がある。

長生きには冬眠も大きく作用しているようだ。冬眠時は脈拍数の稼働が少ないからだ。ただし人間は睡眠時の脈拍数は起きているときとあまり変わらない。昨今諸動物の冬眠にかんする研究が進んでいると聞く。

人間においても睡眠状態から仮想冬眠に一時移行して脈拍数を減らし寿命が伸びれば



（総持寺 焔魔堂前の池）

100歳年齢をさらに伸ばすことも可能ではないか。

私に残された脈拍数は極めて少なくなりやや慌て気味の昨今、人間の冬眠研究はどこまで進んでいるのか？その成果が待ち遠しい。 以上

次回のイベント

街歩き 4月4日(金) 京都・大原野周辺散策 JR 向日町駅 10時集合

—— 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ——

- 日時： 令和7年5月8日(木) 14:00~16:00 4月の例会はありません
- 場所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29
- 議題： 1. 4月4日(金)お花見の振り返り
2. 5月30日(金)の高砂散策
3. 6月13日(金)の伏見屋試食会 他

『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



« 編集後記 »

- 春の訪れを感じる季節となりました。街ingでは4月以降も3回のイベントを計画しています。ぜひご参加ください。
- 3ページ高校三年生の替え歌はネットで検索できます。こちらもぜひ。
- 街ingの行事は任意・自由参加です。事故・傷害などについては、自己責任で対応ください。街ingでは事故に対して、一切の責任を負いません。

« 編集・発行 »

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://wwa.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2025年3月現在での訪問者は10,440 <前月比20の増加> となってい

ます。

